

●入会に際してご留意いただきたいこと

- 1 白寿会の目的は、医学の発展に寄与するため、会員の遺体を岩手医科大学に寄贈することです。入会の目的が、残された親族に迷惑をかけたくないため、また、身寄りがないため福祉事務所関係からの斡旋による申し込みは、白寿会の目的に適しません。
- 2 **入会に際して家族(親族)2名の同意が必要です。** 大学へ遺体の提供を実際に行うのは遺族であり、法律により遺族の同意がなければ解剖できないからです。家族(親族)の範囲は特に規程はありませんが、自分の死後、発言力が大きいと考えられる方には同意を得ておくことが特に重要です。
- 3 岩手医科大学に引き取られた遺体が遺骨となって遺族にもどるまでに**1年から3年かかります。**これは遺体の防腐処置に最低3ヶ月要すことと、解剖学実習が毎年決められた時期に約半年間とおして行われるためです。このことを説明した上で家族の同意を得るようにして下さい。また、**遺骨は必ず遺族にお返しすることとなり、大学ではお預かりできません。**
- 4 会員としての特典は特にございません。会員相互の親睦と献体という行為により医学に貢献できることが特典と言えるかもしれません。会員だからといって病院の治療などが優先的に扱われることはありません。
- 5 臓器移植については近年、角膜移植(献眼、アイバンク)を始め、腎移植などが盛んに行われるようになり、将来更に発展することが予想されます。献体を希望される方の中にも臓器提供を併せて希望される方がおられますが、献体と臓器移植を同時に実行することは困難です。そのため、死後のことを十分に家族と話し合っておくことが必要です(白寿会としては眼球も含めて全身を献体することが望ましいと考えておりますが、特に希望があればアイバンクへの登録は認めております)。